



National Archives and Records Administration

マイケル・J・カーツ (MICHAEL J. KURTZ)
米国国立公文書館
記録サービス局長 (館長補)

マイケル・J・カーツ博士は現在、記録サービス局長として、ワシントンDCの米国国立公文書館(NARA)で、全ての記録管理、公文書管理およびアウトリーチプログラムの業務を担当している。国立公文書館には1974年より勤務し、数多くの公文書管理の職を歴任してきた。また、1990年より、メリーランド州立大学大学院情報研究学部の非常勤講師として文化施設のマネジメントのクラスを担当している。

カーツ博士は、アメリカ・カトリック大学において歴史学で学士号(1972年)を取得、ジョージタウン大学では、近代ヨーロッパ歴史学で修士号(1974年)ならびに博士号(1982年)を取得した。カーツ博士は、成績優秀者に与えられるパイ・ガンマ・ミューおよびファイ・ベータ・カッパの会員に選ばれている。1972年にはカトリック大学から歴史学における優れた成績によりファイ・アルファ・セータ賞を受賞している。1987年から2001年まで米国アーキビスト協会の公文書管理会議の議長。1990年から2001年までルーテル歴史協会の会長。

カーツ博士は、公文書管理の分野、南北戦争・第二次世界大戦・大戦後の時代に重点をおいた米国史の分野、ならびに宗教史と文化史の分野で記事や研究論文を書いている。

主な著書

America and the Return of Nazi Contraband: The Recovery of Europe's Cultural Treasures (2006)

“Archival Management”, in Managing Archives and Archival Institutions (1988)

“Emancipation in the Federal City” in Civil War History (September 1978)

“The End of the War and the Occupation of Germany, 1944-52. Laws and Conventions Enacted to Counter German Appropriations: The Allied Control Council” in The Spoils of War: World War II and It's Aftermath: The Loss, Reappearance, and Recovery of Cultural Property (1997)

Managing Archival and Manuscript Repositories (2004)

“Resolving A Dilemma: The Inheritance of Jewish Property,” in Cardozo Law Review, (December 1998)

“Strategic Planning and Implementation at the National Archives and Records Administration,” in Leadership and Administration of Successful Archival Programs (2001)